

アイヌ文化を発信する空間 ～整備の概要～

【概要】

北海道観光、札幌観光の玄関口の一つである「地下鉄さっぽろ駅」の改修にあわせて、駅コンコース部に「アイヌ文化を発信する空間」の整備を進めています。

この空間は、「アイヌの歴史や文化に対する理解促進のきっかけづくり」と「市内・道内に存在するアイヌ関連施設の情報発信」という役割を果たします。

【場所】

地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部 約318㎡
(北改札と南改札の間のスペース)

【供用】

2019年3月下旬に供用開始予定

【整備内容】

- シンボルとなる実物展示（ガラスケース内展示含め3か所）
- タッチパネル（2面）による情報提供
- メインシアター（大型9面モニター）による情報発信
- 柱、天井等によるアイヌの世界観の表現
- テーブルシアターによる双方向的なアイヌの世界観の体験

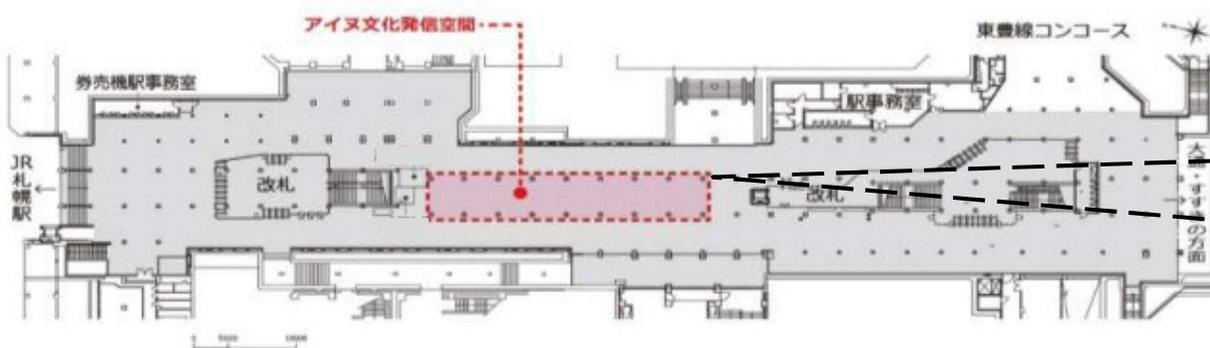


空間予定地の整備後

※ 現時点でのイメージであり、今後、内容を変更する可能性があります。



空間予定地の整備前



アイヌ文化を発信する空間 ～映像系展示コンテンツの概要～



アイヌシアター

楽しみながら学べるコンテンツも
様々な通行者の興味を惹きつける
メインシアター

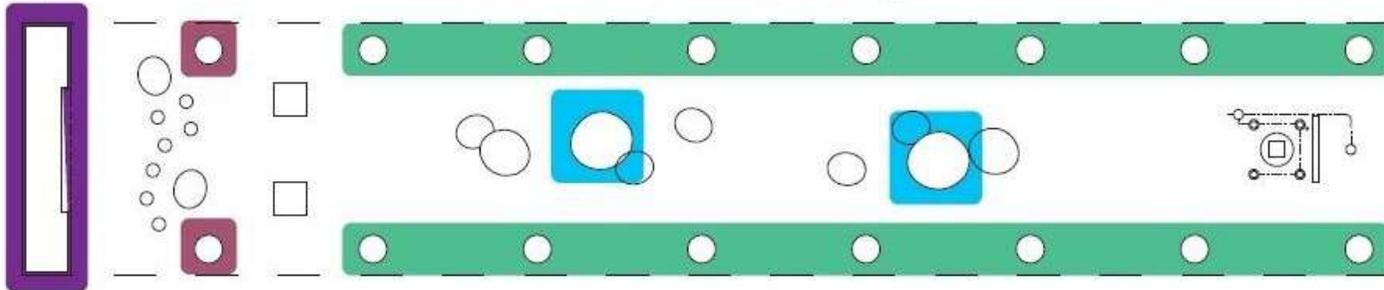
メインシアターコンテンツ



カムイの宿る大樹

音と光でカムイの気配を表現
「見える」「聞こえる」集客率を
高めるイルミネーションコンテンツ

柱演出コンテンツ



アイヌインフォ

情報はスマホ／タブレットで持ち出
そう 総合案内パネル

タッチパネルコンテンツ

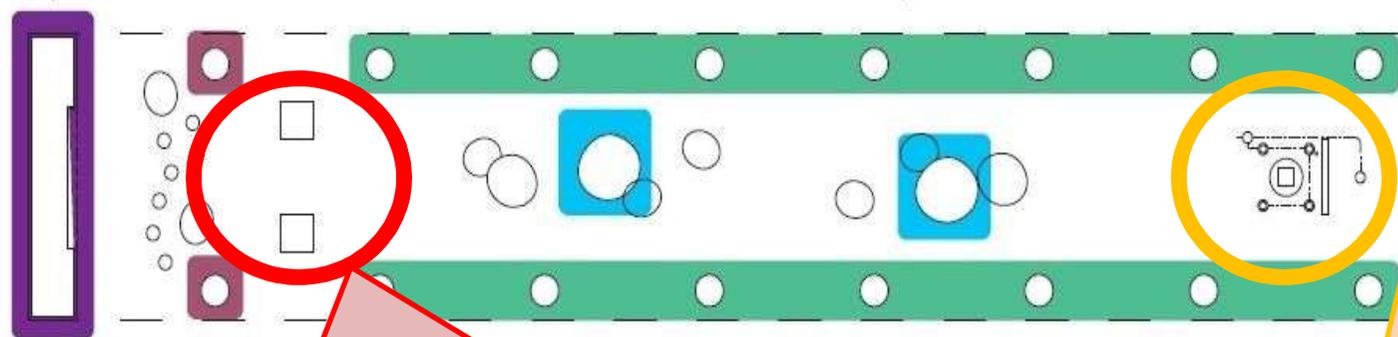


ハコニワコタン

アイヌの日常を覗いてみよう
学びながら楽しめる
体験型リアルタイムアニメーション

テーブルシアターコンテンツ

アイヌ文化を発信する空間 ～実物展示の概要～



ガラスケース内展示

木彫作品

刺繍作品

シルバー製作品

を展示します！

※ケース2基に4作品

シンボルオブジェ

地下鉄南北線さっぽろ駅の

新たなシンボルとして登場します！

アイヌ文様を彫刻した大木(高さ2.0m)

大きく羽を広げたシマフクロウ(幅2.4m)

<制作作家 貝澤徹さん>